

成田国際空港の騒音問題について、市の考え方、隣接区域の拡張に向けた取組み状況、騒音問題の情報公開について伺います

答弁>

- ・完全な解決は非常に難しいと認識している。
令和2年4月1日で、新利根地区の一部区域が第1種区域に指定することに先駆けて、平成30年9月1日付で隣接区域を設定した。さらなる拡張に向けて現在進行中。
- ・騒音問題の取組については、多くの市民の方に認識いただくため、HPや広報誌等での情報公開が行えるよう進めていく。

隣接区域の拡張に向けて協議中！決まり次第お知らせいたします。

市長が毅然とした態度で騒音問題に臨み、市民の意見を吸い上げ、県や国に対して、市の意見を確実に伝えることで、本来の意味での空港と稲敷市の共存共栄が図れると思いますが、市長がどういうお考えかを伺います。

答弁>

いただいたご意見については、稲敷市航空機騒音等対策協議会などの場にて語り、飛行コースの面的運用の改善や静穏時間の確保などの要望を引き続き行っていき、各種施策に反映させ、安心安全で住みやすいまちづくりを進めていく。
国・県・市町・成田国際空港の4者による意見交換会の実施など、茨城県知事の参加を働きかける要望を強く行っていく所存。
これらの対応のうえ前向きな解決の方向として、空港との共存共栄があるものと認識している。共存共栄においては、空港のポテンシャルと稲敷市の立地や資源を生かし、新たな定住者の獲得、住環境の向上、産業振興など、地域振興の推進について、私自身が先頭に立って進めていきたい。

他市の例のように、公共交通、給食費、公園整備、農業施設整備等、様々な形で住民に還元すべきではないか伺います

答弁>

周辺市町の活用事例を参考に、「教育」「医療」「公園整備」等、様々な分野から現在策定を進めている第3次総合計画の施策に加味し、更なる活用を検討していきたい。

市長、執行部の皆様、ご答弁ありがとうございました！
航空機騒音問題の今とこれからは、地域の皆様と共に、皆様の声をひろいながら空港と良い関係をつくれるよう努力していきます。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



誰もが輝けるまちへ

染谷久仁桂プロフィール

1975年生まれ（旧染谷商店の次女）
新利根村立新利根小学校、中学校卒業
聖徳大学付属聖徳高等学校英語科卒業
東洋学園大学英米言語学科卒業
元外資系航空会社勤務
元成田空港職員
一般社団法人 IPF Japan 会長

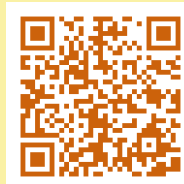
生まれ育った稲敷のために
勉強して参りました！
幸せと豊かさを市民へ！

自民党茨城県連青年局
女性部担当部長

TOKYO自民党政経塾 第17期終了
自民党女性局女性候補育成コース
女性局長賞受賞

染谷くにか事務所

稲敷市柴崎141番地
0297-87-3330



Instagram Facebook

編集後記

稲敷市議会議員として1年が経ちました。多くの方々に支えられ議員として活動できましたことを心より感謝いたします。

私は4年前、市議会議員になるべく、学ぶ場と日本の政策を知るために政党を選ぶことから始めました。そして女性活躍を含めた女性議員輩出のための学ぶ場がある自民党、国の政策を握る自民党を選びました。今も自民党本部において学ばせていただいております。恩師である先生はたくさんおります。

特に今年89歳になられる恩師からは政治家としてあるべき姿について多くのこと学びました。その先生は当時満州から命からがら日本へ引き揚げ、この日本を守らねばという思いで政治家になられました。自民党の大役も多くこなされ、病を患いながらも今だに我々若き政治家に、政治家魂たるものを叩き込んで下さっています。自民党本部における研修、そして恩師から教えられることは「生まれ育った地元だからこそ地元の人々が抱える問題が手に取るように分かる。地元の人のために尽くせることが地方議員に求められている」とうことです。

天下国家、命を懸けても国を守るという精神、それが地方であっても同じことである。志を持って人々に寄り添うことができる政治家であること、そしてその政治家が成したことが人々に還元されて始めて自分の選んだ自民党を誇れるのではないかと考えますし、現在、党本部ではそのように教えを頂いております。それが、子育て教育の問題であれ、航空機騒音問題であれ、地元の人々が抱える問題であれば、地元やそこに暮らす市民を守るために動かなければなりません。今、政治とお金の問題等で政治への不信感が止みません。本当の意味での刷新により、元来の政治のあるべき姿に戻れることを期待します。そして私はこの生まれ育った稲敷の地方議員として県や国と繋がり、市民を守る！これが1期2年目の目標でもあります。

政治家になり僅か1年ですが、「君は何者か？」と問われたら、まちがいなく「政治家」と答えると思います。そして10年20年後もそうでありたいと思います。

令和6年3月 稲敷市議会議員 染谷久仁桂